

ガソリン等の取扱いに注意！！

京都府福知山市の花火大会会場で、ガソリンの取扱いを誤り火災により死傷者が発生しました。

つきましては、ガソリン等を使用する際には次の事項に十分注意してください。

《ガソリンの特性》

- ・引火点が -40°C 程度と低く、常温で気化し可燃性の蒸気が発生するため火気を近づけるとすぐに着火する
- ・蒸気が空気より重いため低いところに溜まる
- ・静電気が溜まりやすい

《ガソリンの保管・取扱いの注意点》

- ・ガソリンの保管は専用の金属製容器で、地面に直接置くなど静電気を蓄積させない
- ・稼働中の発電機に給油する時は必ずエンジンを停止
- ・ガソリン容器は、変形や破裂しないよう、蓋をしっかりと閉め、周囲に火気がなく直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管
- ・ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守

《火気設備使用の注意点》

- ・屋台等でガスコンロ等を使用する場合は、ゴムホースの劣化、接続部の緩みを点検
- ・ガスボンベは、転倒防止措置をとり直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置
- ・ガスボンベは、ガスコンロ等火気を使用する設備から火災予防上安全な距離を確保

《消火器等の準備》

- ・初期消火に効果がある、消火器等の準備をしてください

○容器を開けるときは、初めにガスに抜きをすること！

※給油口を先に開けると、内圧差によりガソリンの噴出などが発生し、周囲に火気があると引火するおそれがあります

ガス抜き栓がある携行缶



こちらを少し回してガス抜きする

ガス抜き栓と給油口が一体になっている携行缶



専用のガス抜き栓が無いので、給油口を少し回し、シューと言う音がなくなり内部の圧が抜け終わるのを確認してから、ゆっくり給油口を開けてください



芳賀地区広域行政事務組合消防本部